部局名	上下水道局	所属名	維持管理課	所属長名	小笠原 朗	電話	482-0924
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	9933	事務事業名称	浄水場等管理事業				短縮コード	経常	9933	臨時		
予算区分	会計	61	水道事業会計_収益的支出	款	01	水道事業費用	項	01	営業費用	目	01	原水及び浄水費
区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他		根拠法令等		水道法							
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
水道事業開始以来、取水及び浄水施設、給水施設の機能を確実に発揮できる状態に保ち、安全かつ安定した供給を図るために実施している。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱 (章)	04	快適生活空間都市をめざして					
施設の老朽化が進む中、事業費の増大が懸念される。					大項目 (節)	04	水道					
					中項目	01	水道					
					小項目 (施策)	01	水道の運営基盤の向上					
					細項目	01	安定供給の向上					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間	～		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	浄水場及び給水場						
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成19年度に実際に行ったこと: 北千葉広域水道企業団からの受水、施設設備の保守点検委託、各施設の修繕工事等を実施。 ※平成20年度に計画していること: 北千葉広域水道企業団からの受水、施設設備の保守点検委託、各施設の修繕工事等。						
意図 (何を狙っているのか)	取水・浄水・給水施設の適正な維持管理						
結果 (どんな結果に結びつけるのか)	入力対象外						
区分		単位	18年度	19年度		20年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	給水能力	m ³ /日	98,079	98,079	98,079	98,079
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	浄水場及び給水場管理費	千円	85,468	144,496	130,059	114,999
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	1日最大給水量	m ³	60,758	63,800	59,082	64,800
	指標2						
	指標3						
上位成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

コード	9933	事務事業名称	浄水場等管理事業			所属名	維持管理課
	単位	18年度		19年度		20年度	
		実績	計画	実績	計画	計画	
事業費(A)	国	千円					
	県	千円					
	地方債	千円					
	一般財源	千円	1,055,100	1,150,323	1,189,570	1,073,188	
	その他	千円					
主な事業費の内訳			○受水費 759,532千円 ○動力費 179,218千円	○受水費 767,517千円 ○動力費 203,750千円	○受水費 831,079千円 ○動力費 196,304千円	○受水費 723,966千円 ○動力費 198,674千円	
人件費(B)		千円	93,875.1	90,815.8	68,029.9	48,124.9	
トータルコスト(A)+(B)		千円	1,148,975.1	1,241,138.8	1,257,599.9	1,121,312.9	

3. 事務事業の評価(SEE)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	☒ 結び付いている	取水・浄水・給水施設の適正な維持管理ができていれば、安定した供給ができ、水道の運営基盤の向上に結びつく。			
		☐ 結び付くが見直しの余地がある				
		☐ 結びつきが弱い・ない				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	☐ 達成している	水道の運営基盤の向上を図るためには、常に安定供給ができるよう、施設の維持管理をしていかねばならない。			
		☒ 達成していない				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	☐ 可能性はある	法的に認可を受けた事業者が必然的に履行するもので、民営化することはできない。			
		☒ 可能性はない				
		☐ 評価対象外事項				
目的妥当性	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	☒ 現状のままでよい	対象及び意図は、現状のままで安定供給の向上に結びつく。			
		☐ 見直す必要がある				
		☐ 評価対象外事項				
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	☐ 有効性向上の可能性はある				
		☐ 効率性向上の可能性はある				
		☒ 両方可能性はある				
		☐ 可能性がない				
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☒ 民間委託等	浄水場及び給水場の維持管理業務を委託することで、業務の質を確保し、かつ職員の人件費を削減することができる。			
		☐ 臨時的任用職員等の活用				
		☐ IT化等業務プロセスの見直し				
☐ 受益者負担の見直し	類似事務事業名称	1		実施主体(所管部署)		
☐ 類似事業との統合・役割見直し		2		実施主体(所管部署)		
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	☐ ある					
	☒ ない					

コード	9933	事務事業名称	浄水場等管理事業			所属名	維持管理課																				
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		☒ 改革・改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続			浄水場等の管理業務は、職員の退職状況を勘案しながら、順次委託内容を増やし、職員の退職状況も勘案しながら、統括的な委託へ移行させていく。																					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経 費</th> </tr> <tr> <th>削 減</th> <th>不 変</th> <th>増 加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <td>向 上</td> <td>☒</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>不 変</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> </tbody> </table>					経 費			削 減	不 変	増 加	成 果	向 上	☒	☐	☐	不 変	☐	☐	☐	低 下	☐	☐	☐	委託内容を順次増やすことで、職員の人件費を削減することができる。
		経 費																									
		削 減	不 変	増 加																							
成 果	向 上	☒	☐	☐																							
	不 変	☐	☐	☐																							
	低 下	☐	☐	☐																							

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
なし	

所属長コメント	浄水場及び給水場の良好な維持管理により、水道水の安定給水ができた。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続 ☒ 手法プロセスの改革・改善 ☐ 事業規模の拡大・縮小 ☐ 統合・役割見直し ☐ その他 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 現状のまま継続	委託については、費用対効果を検証し、退職状況を鑑みながら推進すべき。